

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

ポジティブな姿勢も火種になり得る残業問題

強い組織、強い現場を作るための、やさしい現代マネジメント！

【なぜ未払い残業代問題は起きるのか？】

“未払い残業代”問題は、いったいどのように起きてしまうのでしょうか。もちろん、無理にサービス残業を求める企業が“ない”とは言えないかも知れません。

しかし、しばしば、従業員から自主的に“サービス残業”を行うケースもあるようです。

【一昔前なら…】

最近はともかく、一世代前なら、『残業の発生は、自分に能力がないためだ』として、残業代を請求しない人も、決して少なくありませんでした。今でも、仕事を覚えるために、自ら時間外にオフィスに残るような時、それが“時間外勤務”に当たるかどうか、微妙なところでしょう。

【前向きな姿勢が生む後ろ向きな結果】

しかし、実は“残業関連のトラブル”は、そんな微妙な解釈の違いから発生するものではないという見解もあるのです。

そしてむしろ、従業員の“やる気”や“理想”が、サービス残業を生む要因になることも、決して少ないとは言えないと指摘するのです。

【それが“トラブルの火種”に化ける？】

それが後々、トラブルの“火種”になってしまふのは何故なのでしょう。そこには、経営者側の“期待”の反作用があるとも言われます。

“やる気”も“理想”も“期待”も、全てポジティブなものであり、“トラブル”とは程遠いようにも感じられますが、そこにこそ“将来懸念の温床”を見出す必要が、ありそうなのです。

【マネジメントの最重要課題の一つ】

顧客や取引先の獲得競争で、“過剰サービス”を求められがちな昨今、その“温床”について熟知しておくことは、組織の士気を高めて、業績獲得を、より確実なものにするために、欠かせないマネジメントになって来ています。

【マネジメント・レポートを購読しませんか？】

そこで、一見“貴重なもの”にさえ見える“温床”の見極めと、その対処法について、自社の現場で痛感しながら対処した経営者の“事例”を、レポートとして、ご用意いたしました。

お申し込みの方には、そのレポートを提供しますので、ご一報ください。



ここ数年、未払い残業代問題が、しばしば“公”に取り上げられます。そして、その都度、企業のブラック体質が批判されます。しかし、実態を掘り下げると、そこには必ずしも“ブラック”とは言えない組織の姿が、浮かび上がるのです。

しかも、その“姿”は、当初は“美德”にさえ見えることがあります。では、どのように“美德”が“トラブル”に化けるのでしょうか。そして、その変化に、マネジメントして、どう対処すべきなのでしょう。

中堅中小企業の皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』に、ご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>